

平成30年度 事業実績

(公益目的事業)

I	常設展示	P. 1
II	特別展示	P. 8
III	資料収集	P. 8
IV	資料管理・保全	P. 9
V	調査・研究	P. 10
VI	図書室等の運営	P. 11
VII	教育普及	P. 12
VIII	施設維持管理・貸出等	P. 26
IX	広報事業	P. 29

平成 30 年度は、ホール等改修工事の実施のため、特別展示室、映像ホールを休室、貸出施設の貸出を停止した。(本館)

I 常設展示

1 本館

(1) 常設展示

5・6階の常設展示室(8,934㎡)において、定期的な展示替えを計24回行ない、常時約2,500点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に開催した。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島2018」展(文化庁と共催)、「玉ー古代を彩る至宝ー」展(古代歴史文化協議会と共催)、「春を寿ぐー徳川将軍家のみやびー」展(公益財団法人徳川記念財団と共催)を開催した。

[常設展観覧者実績]

区 分	平成30年度(A)	対前年比(A/B)	平成29年度(B)
一 般	408,681人	154.7%	264,256人
学 生	39,680人	155.4%	25,531人
高校生、都外中学生	56,835人	124.2%	45,777人
65歳以上	105,057人	137.9%	76,156人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察等)	298,615人	244.1%	122,343人
合計	908,868人	170.2%	534,063人
開館日数	317日	195.7%	162日
1日あたり観覧者数	2,867人	87.0%	3,297人

(2) 企画展

東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を6回実施した。

① NHKスペシャル関連企画「大江戸」展

会 期 平成30年4月1日(日)～5月13日(日)

会 場 常設展示室 5F 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館、NHK

内 容 「大江戸」という名が史料に現れるのは18世紀中頃、推定人口100万人を超えたあたりからである。本企画展では、「江戸の成り立ち」「江戸城の絵図」「火事と江戸」「水辺の風景」「写された風景」の5つの視点から、巨大都市「大江戸」の繁栄の歴史を追い、大都市としての特性を見つめるきっかけとした。

なお、本展は、NHKスペシャル シリーズ 大江戸(全3回)の関連展覧会である。

担 当 齋藤慎一(事業企画課展示事業係)、窪田直子(都市歴史研究室)

② 発掘された日本列島2018

会 期 平成30年6月2日(土)～7月22日(日)

会 場 常設展示室 5F 企画展示室

主 催 文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館、東京新聞、全国新聞社事業協

議会

協力 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社

後援 全国史跡整備市町村協議会

内容 文化庁との共催で、最新の発掘調査の成果を公開する巡回展。今年度は、装飾古墳を特集するほか、6世紀初頭の榛名山噴火で被災した「甲を着た古墳人」が発見された金井東裏遺跡出土品などを展示した。また、地域展では「東京郷土資料陳列館と考古学」と題し、1934年11月にオープンした東京の公立歴史博物館のルーツともいえる「東京郷土資料陳列館」の概要と当時収集された考古資料等を紹介し、貴重な文化財への理解を深める場となった。

担当 松井かおる(事業企画課展示事業係)・津田紘子(事業企画課展示事業係)

③ 東京150年

会期 平成30年8月7日(火)～10月8日(月)

会場 常設展示室 5F 企画展示室

主催 東京都 東京都江戸東京博物館

内容 東京誕生から150年の節目の年に、東京の歴史を幕末から明治・大正・昭和と、画期となる出来事を踏まえながら通史的に振り返る企画展。幕末から現代まで、写真や版画等を中心に展示し、都市と人々の暮らしの変遷をたどった。

担当 沓沢博行(都市歴史研究室)、春木晶子(事業企画課展示事業係)

④ 玉ー古代を彩る至宝ー

会期 平成30年10月23日(火)～12月9日(日)

会場 常設展示室 5F 企画展示室

主催 東京都 東京都江戸東京博物館、古代歴史文化協議会(埼玉県、石川県、福井県、三重県、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、宮崎県)

内容 2020年は『日本書紀』編纂1,300年の節目となることから、『古事記』『日本書紀』にゆかりの深い14県が古代歴史文化協議会を結成。各県の国宝・重要文化財の「古墳時代の玉類」を展示。装身具だけでなく王権と係わる玉を通して日本の美と象徴性を考える場とした。

担当 西村直子(事業企画課展示事業係)、川口友子(事業企画課展示事業係)

⑤ 春を寿ぐー徳川将軍家のみやびー

会期 平成31年1月2日(水)～3月3日(日)

会場 常設展示室 5F 企画展示室

主催 東京都 東京都江戸東京博物館、公益財団法人徳川記念財団

内容 徳川宗家に伝来する東照宮御影(元日拝礼)をはじめ、天璋院篤姫・皇女和宮が所持した雛道具、江戸中後期の精緻な銀細工や豆人形などを展示し、徳川将軍家の年中行事や季節感、美意識などを紹介した。

担当 齋藤慎一(事業企画課展示事業係)、春木晶子(事業企画課展示事業係)

⑥ 市民からのおくりもの2018ー平成28・29年度 新收藏品からー

会期 平成30年3月19日(火)～5月6日(月)

会 場	常設展示室 5F 企画展示室
主 催	東京都 東京都江戸東京博物館
内 容	博物館が近年新たに収蔵した資料を公開する展覧会。平成 28 年度・29 年度は 2,000 点余りの資料を収蔵したが、その中から厳選し、江戸の名所として親しまれた亀戸梅屋敷の珍しい伝来資料や、歌川豊春の肉筆画の大作、近年評価が高まっている蒔絵師柴田是真の下絵類などの絵画、また、分館の「江戸東京たてもの園」に移築展示されている茶室「会水庵」を開いた茶人・山岸会水の茶道具などを展示した。 寄贈者に感謝の意を表するとともに博物館の資料収集活動に対する都民の理解を深める機会とした。
担 当	事業企画課資料係（田中裕二、益田茂、粟屋朋子、眞下祥幸、落合則子、白井麻美、岡真理香）

2 分館（江戸東京たてもの園）

(1) 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてもの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また、四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

[入園者実績]

区 分	平成30年度(A)	対前年比(A/B)	平成29年度(B)
一 般	114,319人	111.3%	102,732人
大学生・専門学校生	13,799人	94.2%	14,655人
高校生、都外中学生	3,594人	96.0%	3,745人
65歳以上	31,247人	93.7%	33,331人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	93,243人	95.1%	98,013人
合 計	256,202人	101.5%	252,476人
1日あたり観覧者数	819人	100.9%	812人

① 収蔵建造物の展示

- ・ 30 棟の復元建造物内の展示により、江戸東京の生活や商いの諸相を明らかにする。
- ・ 季節ごとに演示品や建具の展示替えを行った。

② 情景再現事業

来園者に復元建造物の歴史的価値をより深く理解いただくため、季節ごとの催しとして、春「こどもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、秋「紅葉とたてものライトアップ」などの各イベントを行った。

・こどもの日イベント

内 容 おつかいゲーム、ベーゴマ大会、兜・風車づくりなど、昭和中期における子供の遊びを演出した。

期 間 平成30年5月4日（金・祝）・5日（土・祝）

会 場 園内全体

参加者数 9,544人（当日来園者）

・七夕のつどい

内 容 七夕の折り紙講座や短冊に願いごとを書き込むなど、昭和中期における初夏の風情を演出した。

期 間 平成30年7月7日（土）・8日（日）

会 場 西ゾーン・吉野家、東ゾーン・下町中通りなど

参加者数 2,399人（当日来園者）

・下町夕涼み

内 容 盆踊り、こども神輿、夜店など、昭和中期における東京下町地域の夏祭りや夕涼みの風情を演出した。

期 間 平成30年8月4日（土）・5日（日）

会 場 園内全域

参加者数 11,026人（当日来園者）

・体験！発見！職人さん

内 容 東京の伝統工芸士や建築に携わる職人を講師とする体験、見学プログラムによって伝統工芸や建築の技の理解を促した。

期 間 平成30年10月27日（土）・28日（日）

会 場 東ゾーン

参加者数 2,897人（当日来園者）

・紅葉とたてもののライトアップ

内 容 園内の色づく木々や建造物にやわらかな光を当て、夜のたてもの園という非日常的空間を演出した。

期 間 平成30年11月23日（金・祝）・24日（土）・25日（日）

会 場 園内全域

参加者数 12,836人（当日来園者）

・江戸の正月を楽しもう

内 容 太神楽、関野町餅つき歌（小金井市無形民俗文化財）など正月らしい事業を実施した。

期 間 平成31年1月2日（水）・3日（木）

会 場 東ゾーン

参加者数 10,365人（当日来園者）

・正月の昔あそび

内 容 書き初め、双六、福笑いなどの遊びとお囃子など、正月にふさわしい催しを実施した。

期 間 平成31年1月5日（土）・6日（日）

会 場 園内全体
参加者数 3,752人（当日来園者）

・ たてもの園フェスティバル

内 容 「けんちく体操」やスタンプラリーなど、建造物に親しむ講座等を実施した。
期 間 平成31年3月21日（木・祝）～28日（木）
会 場 園内全体
参加者数 13,138人（当日来園者）

・ 伝統工芸の実演

内 容 復元建造物内で、現代東京に伝わる各種の伝統工芸の製作実演を行い、職人の手わざを体感できるようにした。
実施項目 金工刀剣／木工指物／和竿／篠笛／銀細工／刀鍛冶／鋳金具工芸／木目込師／江戸表具／指物／藤工芸／村山大島紬／東京手描友禅／江戸刺繍／和裁／日本刺繍／竹工芸／彫刻ガラス／鍛金／提灯／東京組紐／東京手描友禅／東京染小紋／根付彫刻師
期 間 平成30年4月～平成31年3月のうち24日間
会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・ 綱島家年中行事

内 容 世田谷区岡本に立地していた復元建造物「綱島家」を舞台に、農家の年中行事を再現した。
実施項目 梅干しづくり／盆、梅の土用干し／十五夜飾り／十三夜飾り／大根干し／小正月／繭玉飾り／節分
期 間 平成30年4月～平成31年3月
会 場 江戸東京たてもの園 綱島家他

・ ちょっと涼しいたてもの園

内 容 伝統的な「涼」のとり方から、ミストシャワーまで、暑い夏をのりきる暮らしの工夫を体感できるよう演出した。
実施項目 夏仕様の建具／風鈴の展示／日傘の貸し出し／打ち水／グリーンゲートの設置／ミストシャワーなど
期 間 平成30年7月24日（火）～9月2日（日）
会 場 江戸東京たてもの園 川野商店、花市生花店、西川家別邸、八王子千人同心組頭の家他

③復元建造物の管理・保全

復元建造物の日常的な点検、復元建造物の修繕工事、建造物の燻蒸、展示清掃、襖・障子・畳の替え工事及び劣化調査等を実施した。

④教育普及事業【ミュージアムトーク】

学芸員による展示解説。毎月1回（第4土曜日）に実施。復元建造物や特別展について詳しく紹介した。

〔内 容〕

4月21日（土）：特別展「看板建築展」みどころ 阿部由紀洋（学芸員）

- 5月26日(土) : 特別展「看板建築展」みどころ 阿部由紀洋 (学芸員)
- 6月23日(土) : 復元建造物の修繕 安藤 亜由美 (建築技術専門員)
- 7月28日(土) : 大和屋本店 新田太郎 (学芸員)
- 8月25日(土) : 特別展「東京150年—都市とたてもの、ひと」みどころ①
米山勇 (研究員)
- 9月22日(土) : 花市生花店 阿部由紀洋 (学芸員)
- 10月27日(土) : 特別展「東京150年—都市とたてもの、ひと」みどころ②
米山勇 (研究員)
- 11月24日(土) : たてものとあかり 米山勇 (研究員)
- 12月22日(土) : 武蔵野の雑木林 友野千鶴子 (学芸員)
- 1月26日(土) : 川野商店 高橋英久 (学芸員)
- 2月23日(土) : 「武蔵野の歴史と民俗」みどころ 丸山はるか (学芸員)
- 3月23日(土) : フェスティバルスペシャル「たてものとお風呂」
新田太郎 (学芸員)

⑤ 教育普及事業【たてもの園セミナー (えどはくカルチャー)】

- 2月2日(土) 『たてものを見る、魅せる』①
「林丈二のまち歩き術」
講師：林丈二 参加者：56名
- 2月16日(土) 『たてものを見る、魅せる』②
「新・建築鑑賞術」
講師：米山勇 参加者：54名
- 11月4日(金) 『たてものを見る、魅せる』③
「ライバル対決 建築史をどう見るか、どう魅せるか」
講師：中川武・藤森照信・米山勇 参加者：71名

⑥ 教育普及事業【スクールプログラム】

「昔暮らし体験」「職場体験学習」等を実施した。

・昔暮らし体験

園内茅葺き民家内などでの石臼での粉ひき・火鉢体験や、各復元建造物での昔の道具探しなどを実施した。

参加人数 37校 3,155人

・職場体験学習

参加人数 5校 15人

⑦ 教育普及事業

- ・情景再現事業の中で子供向け教育普及事業を実施した。

「体験！発見！職人さん」 左官体験、大工体験

「たてもの園フェスティバル」 多摩産材を利用したたてもの園わくわくマグネットづくり、たてものなぞ解きラリー 他

- ・園内にて復元建造物を活用し、常時、外国人向け教育普及事業を実施した。

「小寺醤油店」で量り売り体験、「川野商店」で和傘体験、「常盤台写真場」で写真撮影体験

⑧ その他の事業

【ビジターセンター展示】

- ・小金井公園の桜写真展

平成 30 年 4 月 1 日（日）～4 月 15 日（日）

4 月 17 日（火）～5 月 6 日（日）

5 月 8 日（火）～5 月 20 日（日） 4,930 人

- ・小金井薪能写真展

平成 30 年 8 月 14 日（火）～8 月 26 日（日） 1,110 人

- ・三宅村写真展

平成 30 年 10 月 19 日（金）～10 月 24 日（金） 492 人

- ・小金井公園の桜写真今昔展

平成 31 年 3 月 19 日（火）～3 月 31 日（日） 1,797 人

【東京大茶会 2018】

平成 30 年 10 月 13 日（土）・14 日（日） 入園者数 7,633 人

【正月イベント】

平成 31 年 1 月 2 日（水）・3 日（木） 入園者数 10,365 人

(2) 展覧会

① 看板建築

会期：平成 30 年 4 月 1 日（日）～7 月 8 日（日）

入園者数：67,829 人

（平成 29 年度分会期：3/20～3/30 全会期入園者数：90,395 人）

関東大震災後の東京に建った「看板建築」は、ファサードの特徴的な意匠と、防火のために使用した素材の工夫から、近年になって歴史的建造物としての価値を高めている。当園に移築・復元されている武居三省堂、花市生花店などの看板建築の魅力を伝えるとともに、丸二商店等の修繕の方法などについて紹介した。

② 東京 150 年一都市とたてもの、ひと一展

会期：平成 30 年 7 月 24 日（火）～平成 31 年 1 月 20 日（日）

入園者数：132,496 人

東京誕生 150 年を記念し、江戸東京博物館本館と連動して実施。東京に建てられた様々な建造物をとおして東京の変遷を紹介し、都市の景観や暮らしの変化を概観した。あわせて、失われた建造物の特徴や魅力、歴史的建造物の活用についての事例を取り上げ、都市東京の 150 年において建築が果たした役割を明らかにした。

③ 武蔵野の歴史と民俗－「武蔵野郷土館」がのこしたモノたち－

会期：平成 31 年 2 月 5 日（火）～平成 31 年 3 月 31 日（日）

入園者数：45,048 人

（平成 31 年度分会期：4/1～6/23 全会期入園者数：119,313 人）

園の前身である武蔵野郷土館から移管された考古・美術・民俗・写真資料等について詳しく展示し、国指定重要文化財「土製耳飾」などについて紹介した。

Ⅱ 特別展示

平成30年度は、ホール等改修工事の実施のため、特別展示室を休室した。

Ⅲ 資料収集

1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

平成30年度は、資料収蔵委員会（収集部会・評価部会）を2回開催し、第1回目（11月6日）では購入資料を、第2回目（1月29日）では購入・寄贈資料を付議した。

(1) 平成30年度資料収集点数 (単位：点)

区 分	購 入	寄 贈	その他	計
標 本 資 料	765	729	0	1,494
図 書 資 料	564	0	3,514	4,078
映像音響資料	37	276	0	313
合 計	1,366	1,005	3,514	5,885

(2) 主な収集資料（寄贈資料より）

分 類	資 料 名
絵画・書跡・典籍・文書類	高橋泥舟関係資料 595 点
文書類	石井良助コレクション古文書 2 点
文書類	丹波国園部藩小出家下屋敷絵図 1 点
静止画	霞ヶ関ビル建築等写真 佐藤翠陽／撮影 167 点

2 資料制作

慶長年中江戸図、武蔵野図屏風の複製を制作した。

- (1) 慶長年中江戸図 紙本着色 1 舗（古河歴史博物館所蔵、国指定重要文化財「鷹見泉石関係資料」のうち）
- (2) 武蔵野図屏風 6 曲 1 双（東京都江戸東京博物館蔵）

3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営が図れるよう、資料を購入した。

〔主な購入資料〕

分類	資料名
絵画	隅田川窯場図屏風 酒井抱一／画
絵画	浮世美人寄花 笠森の婦人 卯花 鈴木春信／画
絵画	村梨子地葵浮線菊紋散牡丹唐草蒔絵耳盥
絵画	蓮図罽 府川一則／画
絵画	赤坂喰違より水道橋まで仮御番所並々切矢来場所絵図
文書類	関東大震災コレクション

IV 資料管理・保全

1 資料管理・保全

(1) 資料の修理

277点の修理を行った。

〔内 訳〕

資料分類	点数
標本資料	234
絵画	1
工芸品	2
文書類	222
典籍	8
生活民俗	1
映像音響資料	2
図書資料	41

(2) 資料の収蔵

平成31年3月末日現在、617,335点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	322,281点
映像音響資料	42,505点
図書資料	252,549点

(3) 資料の貸出

平成31年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、29件（307点）の資料を貸し出した。

(4) 寄託資料の更新

9件、20,352点の寄託資料の更新を行った。

2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情

報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(資料情報システム)の管理及び運用を行った。

V 調査・研究

1 都市歴史研究室における研究テーマ

- (1) 年間特定研究「外からみた江戸東京」
 - ①外国人がみた江戸東京
 - ②地方人がみた江戸東京
- (2) 共同研究
 - ①比較都市研究 江戸と大坂(大阪歴史博物館との共同研究)
 - ②在外日本コレクションの所在調査(国立歴史民俗博物館との共同研究)

2 書籍の編集・刊行

- (1) 『東京都江戸東京博物館紀要 第9号』の刊行
発行年月日 平成31年3月26日
発行部数 1,400部
構成
 1. 落合則子・外山高志「牛込津久戸町 外山邸の人びとと「隣の税所さん」－画家と美術評論家・言語学者をめぐる東京の文化点描－」
 2. 岩城紀子「久保田米僊の巴里万博見聞日記－『京都日報』連載「渡航画報」を中心に－」
 3. 小山周子「明治期の錦絵版元の活動－当館所蔵小林清親「東京江戸橋之真景」版木より－」
 4. 長屋さくら「フランス国立ギメ東洋美術館における日本関連コレクションを使った展示と教育普及事業の紹介」
 5. 報告「国内外の博物館内図書室の運営に関する調査報告」
阿部陽子「米国スミソニアン協会博物館群における図書室運営」
栗原智久「博物館図書室からみた「連携」の事例－ワシントンD.C.・ニューヨーク調査－」
楯石もも子「英国の事例からみるミュージアムライブラリーの可能性－大英博物館、ヴィクトリア&アルバート博物館(ナショナル・アート・ライブラリー)を中心に－」
小宮山めぐみ「資料と市民をつなぐ博物館図書室－イギリス及び国内調査報告－」
式 淳子「沖縄県公文書館の視察報告－江戸東京博物館図書室の図書資料の保存と公開の充実に向けて－」
井上美奈子「関西地域博物館図書室見学報告」
 6. 市川 寛明「参向公家衆御馳走仕法改革と御賄方料理人足の商人請負について」
 7. 春木晶子「武蔵野図屏風」図様の成立と展開－江戸東京博物館博所蔵甲

本を中心にー」

8. 齋藤慎一「慶長期の江戸城ー「慶長江戸図」・「江戸始図」の再検討ー」

(2) 『江戸東京博物館史料叢書10 菊花壇養種』の刊行

発行年月日 平成31年3月28日

発行部数 1,000部

構成

『菊花壇養種』翻刻

解説 田中実穂

VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

閉室期間中（30年12月10日（月）～同年12月25日（火））は、蔵書整理、開架書籍の入替えなどを実施した。

1 図書室利用状況

入室者数	31,105人
閉架図書請求数	2,350冊
マイクロフィルム請求数	233件
図書複写申請数（モノクロ）	8,623枚
図書複写申請数（カラー）	1,099枚
マイクロフィルム複写申請数	4,379枚
レファレンス対応数	1,520件
インフォメーション対応数	1,605件
WEB-OPAC検索利用数	3,087,207件
ALC検索利用数	112,493件

2 夏休み！こども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 平成30年7月18日（水）～9月2日（日）

対応人数 614 人

3 図書室内ミニ展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を計4回行った。

展示テーマ	会 期	担 当
「一平全集」（蔵めぐり関連）	4月1日～7月29日	小宮山めぐみ（司書）
「錦絵にみる西郷隆盛余波」	8月1日～9月30日	栗原智久（司書）

「松竹少女歌劇団誕生から90年」	10月2日～12月24日	井上美奈子（司書）
「奇想の絵師たち」（東京都美術館 「奇想の系譜展」に寄せて）	1月5日～4月7日	阿部陽子（司書）

4 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

特集テーマ	会期	担当
特集展「写楽の眼恋する歌麿－浮世絵 ベストコレクション－」	4月1日～5月6日	井上美奈子（司書）
たてもの園特別展「看板建築」	3月20日～7月8日	井上美奈子（司書）
企画展「発掘された日本列島」	6月2日～7月22日	阿部陽子（司書）
特集「玉川上水」	7月18日～9月24日	小宮山めぐみ（司書）
特集「戦争と日記」	7月18日～9月2日	井上美奈子（司書）
特集「西郷どん」	8月1日～12月24日	栗原智久（司書）
企画展「東京150年」	8月7日～10月8日	楯石もも子（司書）
企画展「玉 古代を彩る至宝」	10月23日～12月9日	式淳子（司書）
企画展「春を寿（ことほ）ぐ 一徳川将軍 家のみやびー」	1月5日～3月3日	井上美奈子（司書）
特集「桜・花見」	3月19日～5月8日	井上美奈子（司書）

5 職場体験受入

江戸東京博物館で職場体験の受入をした中学校のうち、下記期間は図書室において、図書配架、図書出納サービス、図書装備、データ入力等の作業を行った。

平成30年7月12日	墨田区立両国中学校	3人
平成30年9月12日	文京区立第六中学校	4人
平成30年11月9日	練馬区立光が丘第二中学校	2人

VII 教育普及

1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計48講座を開催した。

期 間	平成30年4月24日（火）～平成31年3月2日（土）
会 場	たてもの園、墨田区みどりコミュニティセンター等
受講料	各講座 一般 1,000円（一部例外あり、セット割引あり） 友の会、ボランティア 800円（同上）
受講者数	4,171人
講座数	48講座

春講座 計 13 回(1,069 人) ※イタリックは外部講師

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
1	4月24日(火)	NHKスペシャル連動企画「大江戸」展 「慶長期の江戸城～「江戸始図」再考～」	齋藤 慎一	169
2	4月25日(水)	すまいの歴史ービルディングタイプの建築史・1① 古代～中世のすまい	米山 勇	38
3	4月26日(木)	日本の絵画としつらえの美① 絵とはなにか? ～神仏と王の荘厳	小澤 弘	105
4	4月27日(金)	白金の歴史と庭園美術館のあゆみ① 高松藩松平家の下屋敷とその周辺	市川 寛明	108
5	5月9日(水)	西郷どんが敬慕した福井の俊秀ー橋本左内の思想と識見ー	角鹿 尚計	104
6	5月11日(金)	白金の歴史と庭園美術館のあゆみ② 旧朝香宮邸ー建築に纏わる物語	神保 京子	100
7	5月17日(木)	日本の絵画としつらえの美② 床の間と座敷飾り ～掛幅絵	小澤 弘	112
8	5月23日(水)	すまいの歴史ービルディングタイプの建築史・1② 近世のすまい	米山 勇	43
9	5月24日(木)	日本の絵画としつらえの美③ 物語る絵、繰り広げる絵 ～絵巻・図巻	小澤 弘	110
10	5月29日(火)	江戸の装い	川口 友子	99
11	5月30日(水)	江戸東京の庭園を見る・歩く	田中 実穂	16
12	6月13日(水)	江戸東京の庭園を見る・歩く	田中 実穂	20
13	6月27日(水)	すまいの歴史ービルディングタイプの建築史・1③ 近現代のすまい	米山 勇	45

夏講座 計 12 回(986 人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
14	7月12日(木)	プレ古文書講座 声に出して読む古文書①	市川 寛明	44
15	7月26日(木)	プレ古文書講座 声に出して読む古文書②	市川 寛明	41
16	8月3日(金)	時を測る①時法 (十二辰刻制)	近松 鴻二	148
17	8月7日(火)	日本の絵画としつらえの美・2①	小澤 弘	118
18	8月10日(金)	東京 150 年展関連講座①写真で見る幕末～明治初期の江戸東京	金行 信輔	147
19	8月17日(金)	時を測る②暦法 (太陰太陽暦)	近松 鴻二	156

20	8月23日(木)	和綴じ本を作ってみよう！AM	楯石もも子	10
21	8月23日(木)	和綴じ本を作ってみよう！PM	楯石もも子	11
22	8月24日(金)	東京150年展関連講座②写真で見る東京の災害と復興	杓沢博行	106
23	8月28日(火)	日本の絵画としつらえの美・2②	小澤弘	107
24	9月11日(火)	学び舎の歴史ービルディングタイプの建築史・2 ① 近世～明治の学び舎	米山勇	53
25	9月25日(火)	学び舎の歴史ービルディングタイプの建築史・2 ② 大正・昭和の学び舎	米山勇	45

秋講座 計12回(1,069人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
26	10月11日(木)	日本の絵画としつらえの美・3①持テ歩ク小画面～扇 絵・団扇絵	小澤弘	95
27	10月12日(金)	版画の中の東京 新版画の誕生①橋口五葉の美人画	小山周子	73
28	10月16日(火)	江戸の日用人足請負商人①	市川寛明	103
29	10月25日(木)	日本の絵画としつらえの美・3②見上げる画廊～絵馬・ 扁額	小澤弘	95
30	10月30日(火)	江戸の日用人足請負商人②	市川寛明	100
31	11月2日(金)	写真絵葉書で旅する明治・大正の東京Ⅱ ①本所・向島・深川を旅する	杓沢博行	98
32	11月9日(金)	版画の中の東京 新版画の誕生②川瀬巴水の大正東京	小山周子	96
33	11月15日(木)	日本の絵画としつらえの美・3③説話と絵解きの世界 ～絵解き絵	小澤弘	88
34	11月20日(火)	越前松平家と江戸の大名屋敷	吉田純一 角鹿尚計	143
35	11月30日(金)	写真絵葉書で旅する明治・大正の東京Ⅱ ②新宿・渋谷を旅する	杓沢博行	93
36	12月4日(火)	武蔵野の歴史と景観①村絵図からみた武蔵野	眞下祥幸	47
37	12月11日(火)	武蔵野の歴史と景観②「武蔵野図屏風」の世界	春木晶子	38

新春講座 11回(1,047人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
38	1月15日(火)	地方人の見た江戸①	市川 寛明	143
39	1月17日(木)	日本の絵画としつらえの美・4 ① 小さな絵の世界～短冊絵・色紙絵・細密画	小澤 弘	85
40	1月29日(火)	地方人の見た江戸②	市川 寛明	134
41	1月31日(木)	日本の絵画としつらえの美・4 ② 器物の上絵～蒔絵・陶磁器・衣装	小澤 弘	89
42	2月1日(金)	日本の元号①	近松 鴻二	138
43	2月2日(土)	江戸東京たてもの園セミナー 「たてものを見る、魅せる」①林丈二のまち歩き術	林 丈二	56
44	2月15日(金)	日本の元号②	近松 鴻二	118
45	2月16日(土)	江戸東京たてもの園セミナー 「たてものを見る、魅せる」②新・建築鑑賞術	米山 勇	54
46	2月21日(木)	日本の絵画としつらえの美・4 ③ 仕掛けの絵～眼鏡絵・影絵・鞘絵	小澤 弘	82
47	2月26日(火)	アマチュア写真家と明治の東京	杓沢 博行	77
48	3月2日(土)	江戸東京たてもの園セミナー 「たてものを見る、魅せる」③ライバル対決 建築史をどう見るか、どう魅せるか	藤森 照信 中川 武	71

2 国際交流事業

(1) 日中韓博物館国際シンポジウム

東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物院（平成18年度より参加）の4館で首都における歴史博物館の交流の一環として、平成14年度から毎年輪番制で国際シンポジウムを開催している。

今年度の第17回日中韓博物館国際シンポジウムは、平成30年8月15日・16日、北京首都博物館において開催された。今回はシンポジウムの共通テーマ「資源共有と学術協力—『首都学』からみる博物館の密接なつながりについて」を設定し、計8本の発表があった。

第 17 回日中韓博物館国際シンポジウム

所 属	発 表 者	テ ー マ
江戸東京博物館	岡塚章子	東京都江戸東京博物館が収蔵する 3 大コレクションについて
ソウル歴史博物館	金 志娟	博物館の学術資源の共有と整合—ソウル歴史博物館の教育製品を例に
瀋陽故宮博物院	張 瑩	都の伝声の文物が現代都市の発展に果たす「つながり」の役割—盛京を例として
北京聯合大学 北京学研究所	張 勃	中国首都博物館と北京学研究基地との深度協力及び統合発展の基礎と方法
北京首都博物館	王 新迎	読城が僕たちをつなぐ—首都博物館「読城」プロジェクト理念についての討論
江戸東京博物館	楯石もも子	江戸東京博物館図書室の活動—開かれた江戸東京研究の拠点をめざして
ソウル歴史博物館	呉 志英	超接続時代の博物館展覧：壁を破り、共同に取り組む—ソウル歴史博物館国際交流特集展「生きていても、望みはかなう」を例に
瀋陽故宮博物院	于 穎	学術活動で博物館と市民との「超接続」を築く
北京首都博物館	張 傑	未来に向けたアクセシビリティ—中日韓博物館のハイパーコネクションについての思考

(2) からくり人形の動態展示

東京都・パリ市主催の「パリ東京文化タンデム 2018」事業の一環で、平成 30 年 11 月 2 日・3 日、パリ日本文化会館にて、からくり人形の実演を実施した。からくり人形に係る紹介動画とパネル展示も同時期に実施した。

3 えどはく寄席

日 程	来館者数の多い時期に開催日を絞り、新緑寄席・ひまわり寄席・紅葉寄席・伝統芸能ウィーク・正月寄席・ファミリー寄席を実施した。今年度は広報をわかりやすくするため、1 日あたりの開催回数を 2 回に戻し、時間も統一して実施した。
客 数	47,476 人 (うち「秋の伝統芸能ウィーク」3,917 人、「正月公演」5,990 人)
内 容	伝統芸能の継承・普及及び常設展示室の賑わいの演出を目的に、常設展示室 5 階中村座前で、落語、漫才、紙切り、かつぽれ、太神楽、邦楽、ジャグリング、曲芸などを実演した。内容については新緑寄席やひまわり寄席ではファミリー向けの太神楽や紙切りなどを中心とした構成とし、特にひまわり寄席では夜間開館にあわせ、講談による怪談を実施するなど、特集的な要素を盛り込んだ。新緑寄席、紅葉寄席、正月寄席の一部を大相撲が開催される臨時開館日に行い、「相撲開館」をアピールした。さらに今年度も、学校団体の多い 11 月の平日に児童・生徒へ向けた「秋の伝統芸能ウィーク」を実施し、教育普及プログラムの一環として、事業の充実を図った。正月には恒例のからくり公演をはじめ、箏曲

演奏、獅子舞など正月らしい催事や公式マスコットキャラクター「ギボちゃん」との記念撮影などを実施した。3月後半の土日、祝日と開館記念日には、ファミリー寄席として、太神楽、紙切り、曲独楽、邦楽演奏など多彩な内容の公演を行った。

[実績一覧]

日付の前、無印は通常のエドはく寄席、☆印は伝統芸能ウィーク、★印は正月の催しを各々表す。

日付	演目	出演者	観客数
4月14日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	673
4月22日	新内	富士松延治太夫	657
4月29日	新内	富士松延治太夫	830
4月30日	太神楽・ヴァイオリン演歌	鏡味正二郎・マグナム小林	857
5月1日	奇術・紙切り	藤山大樹・林家今丸	582
5月2日	奇術・紙切り	藤山大樹・林家花	617
5月3日	太神楽・紙切り	鏡味よし乃・林家花	945
5月4日	太神楽・奇術	鏡味よし乃・伊藤夢葉	958
5月6日	ヴァイオリン演歌・太神楽	マグナム小林・鏡味味千代	557
5月12日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	662
5月13日	太神楽・講談(相撲)	丸一小助・小時・一龍斎貞寿	688
5月14日	太神楽・講談(相撲)	鏡味味千代・神田山緑	265
5月20日	太神楽・相撲漫談	鏡味味千代・一矢	666
5月21日	相撲漫談・講談(相撲)	一矢・神田阿久鯉	303
5月27日	太神楽・紙切り	鏡味正二郎・林家今丸	612
6月9日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	588
7月14日	かつぼれ	桜川ぴん助社中	685
7月15日	太神楽・落語	鏡味よし乃・桂伸治	864
7月16日	紙切り・落語	林家今丸・立川談幸	769
7月20日	講談(怪談)	一龍斎貞寿	107
7月22日	新内	富士松延治太夫	680
7月27日	講談(怪談)	神田あおい	129
7月29日	新内	富士松延治太夫	574
8月3日	講談(怪談)	柳家蝠丸	126
8月10日	手妻(和妻)・太神楽・講談(怪談)	藤山大樹・鏡味味千代・神田山緑	672
8月11日	太神楽・奇術	鏡味味千代・伊藤夢葉	721
8月12日	太神楽・奇術	丸一小助・小時・伊藤夢葉	828
8月13日	手妻(和妻)・太神楽	藤山大樹・鏡味正二郎	667
8月14日	太神楽・紙切り	丸一小助・小時・林家花	987
8月15日	江戸曲独楽・紙切り	やなぎ南玉・林家花	854

8月16日	江戸曲独楽・太神楽	やなぎ南玉・鏡味正二郎	701
8月17日	講談(怪談)	神田阿久鯉	211
8月19日	新内	富士松延治太夫	657
8月24日	講談(怪談)	神田紫	123
8月26日	新内	富士松延治太夫	570
9月8日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	660
9月9日	モダン曲芸・講談	ボンボンブラザーズ・一龍斎貞寿	661
9月10日	紙切り・講談	青空麒麟児・神田京子	448
9月16日	太神楽・講談	鏡味味千代・神田阿久鯉	701
9月17日	江戸曲独楽・講談	やなぎ南玉・神田山緑	708
9月23日	紙切り・講談	林家花・田辺一邑	678
9月30日	新内	富士松延治太夫	342
10月1日	木遣り	江戸消防記念会	703
10月7日	太神楽・落語	鏡味正二郎・桂伸治	695
10月8日	太神楽・落語	丸一小助・小時・桂夏丸	737
10月13日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	589
☆11月6日	邦楽	竹井誠	642
☆11月7日	邦楽	竹井誠	279
☆11月8日	新内	富士松延治太夫	342
☆11月9日	邦楽	竹井誠	508
11月10日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	479
☆11月13日	落語	桂伸治	481
☆11月14日	落語	三遊亭遊吉	527
☆11月15日	落語	立川談幸	559
☆11月16日	落語	春風亭柳之助	579
11月18日	新内	富士松延治太夫	680
★1月2日	獅子舞・箏・尺八・からくり	江戸囃子鼓太郎・大島敦子・遠藤鈴匠・夢からくり一座	1,631
★1月3日	獅子舞・箏・尺八・からくり	江戸囃子鼓太郎・大島敦子・遠藤鈴匠・夢からくり一座	1,576
★1月4日	からくり	夢からくり一座	1,060
★1月5日	からくり	夢からくり一座	858
★1月6日	からくり	夢からくり一座	865
1月12日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	574
1月13日	太神楽・紙切り	鏡味正二郎・林家花	807
1月14日	太神楽・紙切り	鏡味味千代・青空麒麟児	792
1月20日	相撲漫談・奇術	一矢・藤山大樹	701
1月21日	紙切り・曲独楽	林家今丸・やなぎ南玉	522

1月27日	太神楽・奇術	丸一小助・小時・伊藤夢葉	657
2月9日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	505
3月9日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	470
3月21日	太神楽・紙切り	鏡味よし乃・林家今丸	588
3月24日	新内	富士松延治太夫	535
3月28日	紙切り・動物ものまね	林家花・江戸家まねき猫	627
3月29日	太神楽・奇術	鏡味正二郎・藤山大樹	647
3月31日	太神楽・曲独楽	丸一小助・小時・やなぎ南玉	678

4 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

実施回数 52件
参加者数 1,942人

【実績一覧】

日程	内容	人数
4月7日	和算パズル	27
4月7日	反古紙で折る小物	42
4月14日	鳴り物を鳴らしてみよう	100
4月21日	ときめきキモノ体験	15
4月28日	藍でコースターを染めてみよう(両国にぎわい祭り参加教室)	65
4月29日	歴史散歩「広重の名所百景(両国)今昔」(両国にぎわい祭り参加教室)	26
5月19日	鳴り物を鳴らしてみよう	110
5月20日	8枚羽根のかざぐるまを作ろう	33
5月26日	歴史散歩「中山道～板橋宿界限散歩」	16
6月2日	和算パズル	32
6月2日	反古紙で折る小物	60
6月17日	江戸文様で遊ぼう-消しゴムはんこで千代紙を作る-	49
6月23日	舞扇子で遊びましょう	25
7月7日	藍染のてるてる坊主を作ろう	40
7月7日	和算パズル	16
7月7日	反古紙で折る小物	10
7月21日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	80
7月22日	ときめきユカタ体験	29

7月28日	回転人形を作ろう	16
7月29日	手描き風鈴を作ろう	22
8月4日	鳴り物を鳴らしてみよう	90
8月19日	浮世絵摺り体験	24
8月25日	ときめきユカタ体験	22
9月1日	和算パズル	21
9月1日	反古紙で折る小物	56
9月15日	万華鏡で遊ぼう	16
9月29日	□三越双六で遊ぼう！	13
10月6日	秋の建て染め体験	35
10月20日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	100
10月21日	歴史散歩「御三卿と偉人の像を巡る」	18
10月28日	ときめきキモノ体験	18
11月3日	和算パズル	38
11月3日	反古紙で折る小物	64
11月17日	8枚羽根のかざぐるまを作ろう	28
11月18日	舞扇子で遊びましょう	20
11月24日	万華鏡で遊ぼう	16
11月25日	ときめきキモノ体験	16
12月1日	歴史散歩「慶喜終焉の地と後樂園」	17
12月2日	ぼち袋を摺ろう	30
1月5日	和算パズル	39
1月5日	反古紙で折る小物	40
1月19日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	80
1月26日	ときめきキモノ体験	26
2月2日	鬼の面を作ろう	25
2月16日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	90
2月23日	ときめきキモノ体験	26
2月24日	浮世絵を組み立てよう	31
3月2日	和算パズル	24
3月2日	反古紙で折る小物	22
3月16日	舞扇子で遊びましょう	40
3月23日	ときめきキモノ体験	29
3月30日	万華鏡で遊ぼう	15

5 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の 16 時～16 時 30 分

回 数 計 55 回

参加者数 1,760 人

学芸員による展示解説。企画展や特集展示などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

[実績一覧]

日 時	担 当	コーナー・テーマ	人数
4 月 4 日	春木晶子	特集展「写楽の眼 恋する歌麿」 (※英語通訳付)	21
4 月 6 日	齋藤・窪田	企画展「大江戸」	28
4 月 11 日	春木晶子	特集展「写楽の眼 恋する歌麿」 (※英語通訳付)	38
4 月 13 日	西村直子	特集展「写楽の眼 恋する歌麿」	31
4 月 20 日	春木晶子	出版と情報	19
4 月 21 日	西村直子	特集展「写楽の眼 恋する歌麿」	72
4 月 27 日	齋藤慎一・窪田直子	企画展「大江戸」	38
4 月 28 日	西村直子	特集展「写楽の眼 恋する歌麿」	53
5 月 8 日	西村直子	特集展「写楽の眼 恋する歌麿」	123
5 月 11 日	春木晶子	E3「出版と情報」	18
5 月 18 日	江里口友子	T2「開化の背景」	21
5 月 25 日	江里口友子	T3「開化の背景」	17
6 月 1 日	川口友子	E2「町の暮らし」	16
6 月 8 日	川口友子	E2「町の暮らし」	21
6 月 15 日	津田紘子	T10「現代の東京」	13
6 月 22 日	津田紘子	T10「現代の東京」	12
6 月 29 日	松井かおる	地域展「東京郷土資料陳列館と考古学」	16
7 月 6 日	松井かおる	地域展「東京郷土資料陳列館と考古学」	22
7 月 13 日	西村直子	E7 文化都市江戸	27
7 月 20 日	松井かおる	地域展「東京郷土資料陳列館と考古学」	56
7 月 27 日	西村直子	E7 文化都市江戸	18
8 月 3 日	齋藤慎一	E1「江戸城と町割り」	37
8 月 10 日	川口友子	E4「江戸の商業」	62
8 月 17 日	沓沢博行	企画展「東京 150 年展」	93
8 月 24 日	沓沢博行	企画展「東京 150 年展」	45

8月31日	江里口友子	T5「関東大震災」	31
9月7日	江里口友子	T5「関東大震災」	28
9月14日	春木晶子	特集展示「玉川上水」	43
9月21日	春木晶子	特集展示「玉川上水」	41
9月28日	沓沢博行	企画展「東京150年」展	68
10月5日	菅井薫	文明開化東京	42
10月12日	菅井薫	文明開化東京	14
10月19日	川口友子	江戸の商業	25
10月26日	古代歴史文化協議会	企画展「玉」展	31
11月2日	川口友子	江戸の商業	37
11月9日	古代歴史文化協議会	企画展「玉」展	42
11月16日	齋藤慎一	江戸城と町割り	27
11月23日	古代歴史文化協議会	企画展「玉」展	37
11月30日	津田紘子	市民文化と娯楽	15
12月7日	津田紘子	市民文化と娯楽	29
12月14日	津田紘子	市民文化と娯楽	21
12月21日	松井かおる	モダン東京	14
12月28日	松井かおる	モダン東京	23
1月11日	川口友子	町の暮らし	18
1月18日	齋藤慎一	企画展「春を寿ぐ」	52
1月25日	徳川記念財団	企画展「春を寿ぐ」	32
2月1日	川口友子	町の暮らし	27
2月8日	徳川記念財団	企画展「春を寿ぐ」	26
2月15日	菅井薫	開化の背景	14
2月22日	菅井薫	開化の背景	14
3月1日	西村直子	江戸の美	33
3月8日	津田紘子	高度経済成長期の東京	14
3月15日	津田紘子	高度経済成長期の東京	16
3月22日	落合則子	企画展「おくりもの」	13
3月29日	落合則子	企画展「おくりもの」	16

6 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行、実施を行った。

本年は、本館274名、分館157名体制により、本館では12,966件のガイド、分館では茅葺き農家燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（平成31年3月31日現在）

展示ガイドボランティア	247名
ふれあいボランティア	27名
合計（延べ人数）	274名

② 活動日時

展示ガイド

火曜日～日曜日（開館日） 10時～16時

毎日20～30名程度のグループで活動

ふれあいスタッフ

9つの班に分かれ、全体で年間51回の体験教室を実施

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する常設展の案内（日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語）

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

④ 対応件数（平成30年4月～31年3月）

外国語による案内件数	5,608件
日本語による案内件数	7,234件
団体事前案内件数	5件
スポット解説	119件

⑤ ボランティア対象の研修

研修実施回数	34回
研修参加者数（延べ人数）	907人

(2) 分館ボランティア

① ボランティア活動

- ・登録人数（平成31年3月31日現在） 157名
- ・茅葺民家の燻煙・園内ガイド
- ・たてもの園事業への協力
- ・自主活動

② こどもボランティアひじろっ子

- ・活動人数 41人
- ・活動日 平成30年7月23日（月）～27日（金）
- ・民家の拭き掃除、ガイドなど

7 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 28校

受入者数 20名

期間 平成30年8月29日（水）～9月6日（木）

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月29日 (水)	午前	【オリエンテーション】事業企画係 長挨拶、実習担当者紹介		展示事業係
			館長講和	講義	館長
			実習生自己紹介、諸注意、保険料徴収		
		午後	【常設展示・教育普及活動】常設展示、教育普及、ボランティア	講義	事業企画課長
			【博物館の現状と課題】	講義	副館長
	【事務連絡】	講義	展示事業係		
	【常設展示見学・解散】動線確認・見学	見学	展示事業係		
2	8月30日 (木)	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【資料の収集と保管】資料の収集と保管	講義	資料係
			【バックヤード・収蔵庫見学】見学	見学	資料係
		午後	【資料の収集・撮影・保管】資料カード作成、掛軸・巻子の扱い、写真撮影	実習	展示事業係
			【事務連絡】		展示事業係
3	8月31日 (金)	午前	【朝会】日誌回収・事務連絡		展示事業係
			【たてもの園】概要・普及事業	講義	たてもの園係
			【たてもの園】見学	見学	たてもの園係
		午後	【たてもの園】普及事業立案の説明	実習	
			【たてもの園】グループワーク	実習	たてもの園係
			【たてもの園】グループワーク発表、講評	実習	たてもの園係

			【事務連絡】		たてもの園係
4	9月4日 (火)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【特別展・企画展】 展覧会の作り方、展示実習について	講義	展示事業係
		午後	【展示実習】 図書室の使い方	実習	司書
			【展示実習】 準備構想（展覧会基本計画の立案、チラシ作成）	実習	展示事業係
		【事務連絡】 事務連絡		展示事業係	
5	9月5日 (水)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】 展示構想検討会	実習	展示事業係
		午後	【展示実習】 展示準備（キャプション等）	実習	展示事業係
			【展示実習】 展示準備（展示方法解説・演示具選定）	実習	展示事業係
		【事務連絡】 事務連絡		展示事業係	
6	9月6日 (木)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】 展示作業（資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係
		午後	【展示実習】 展示作業（資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係
			【展示実習】 発表、講評	実習	展示事業係
			【片付け】 片付け	実習	展示事業係
	【学芸員実習まとめ】 反省会、事務連絡		展示事業係		

(2) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

① 訪問学習の実施

学芸員及び博学ボランティア（7名）による歴史学習への対応

参加人数 198人

参加学校数 36校（小学校 0、中学校 33、高等学校 3、大学 0）

② 職場訪問の実施

参加人数 198人

参加学校数 38校（中学校35、高等学校3）

(3) その他の研修受入れ

① 首都大学東京現場体験型インターンシップ

参加人数 3名

実施時期・内容

・本館 平成30年8月22日（水）～8月24日（金）教育普及事業補助等

②都庁国際化リーダー育成プログラム

参加人数 毎回 200 人

実施時期

- ・平成 30 年 7 月 19 日（木） 江戸東京博物館常設展見学と講義（計 3 講座）

第 1 講 市川寛明「江戸東京博物館で学ぶ江戸の歴史」

第 2 講 杓沢博行「江戸東京博物館で学ぶ東京の歴史」

第 3 講 市川寛明「江戸東京の歴史がわかる場所紹介」

- ・平成 30 年 10 月 10 日（水）～12 日（金）

東京の歴史・文化に関するフィールドワーク

VIII 施設維持管理・貸出等

- 1 博物館管理運営東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

○平成30年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時 平成30年7月19日（木）14時から16時まで

場 所 事務棟 2 階 会議室

- 内 容
- 1 平成29年度事業実績について
 - 2 江戸東京たてもの園復元建造物部会の実施報告について
 - 3 その他

○平成30年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時 平成31年3月15日（金）13時30分から15時30分まで

場 所 事務棟 2 階 会議室

- 内 容
- 1 平成31年度事業計画について
 - 2 平成30年度の入館状況について
 - 3 江戸東京たてもの園復元建造物部会の実施報告について
 - 4 その他

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会委員（平成31年3月末現在）

会 長 市 村 佑 一（江戸川学園理事、前江戸川大学学長）

副 会 長 久留島 浩（国立歴史民俗博物館館長）

委 員 池 山 世津子（元渋谷区教育長）

委 員 伊 東 孝（日本イコモス国内委員会「技術遺産小委員会」主査、元日本大学教授）

委 員 薄 井 和 男（神奈川県立歴史博物館館長）

委 員 熊 倉 功夫（MIHO MUSEUM 館長）

委 員 越 澤 明（北海道大学名誉教授、一般財団法人住宅保証支援

				機構理事長)
委 員	嵯 峨	実 允	(東京都私立中高等学校協会推薦	学校法人町田学
				園理事長)
委 員	月 岡	正 明	(全国小学校社会科研究協議会推薦	世田谷区立
				等々力小学校校長)
委 員	峰 岸	純 夫	(首都大学東京名誉教授)	
委 員	吉 見	俊 哉	(東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授)	

○平成30年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

日 時 平成30年7月31日(火) 10時30分から12時まで

場 所 江戸東京たてももの園 会議室

(1) 審議事項

- ・小出邸緊急修繕工事実施設計および工程について

(2) 報告事項

- ・丸二商店の緊急修繕工事の完了について
- ・劣化調査 (H28)、耐震診断「天明家・伊達家の門」の結果について
- ・補修工事 (H28) の内容について

○平成30年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

日 時 平成31年2月15日(金) 13時30分から15時30分まで

場 所 江戸東京たてももの園

(1) 審議事項

- ・前川邸、大川邸の耐震補強方法について

(2) 報告事項

- ・天明家耐震補強工事についての報告
- ・平成30年度劣化状況調査中間報告
- ・前川邸、大川邸の耐震診断について(再報告)

○東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会専門委員(平成31年3月末現在)

部 会 長 中谷 礼二 (早稲田大学理工学術院創造理工学部教授)

専門委員 津村 泰範 (長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科准教授)

専門委員 山崎 鯛介 (東京工業大学環境・社会理工学院建築学系准教授)

(2) 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

○平成30年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会

日 時 令和元年5月13日(月) 午後3時分から午後5時

場 所 事務棟2階 会議室

- 内 容
- 1 平成30年度外部評価総合評定について
 - 2 平成31年度事業計画について

○ 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員

- 委員長 半田昌之（日本博物館協会専務理事）
委員 畠中勇（江戸東京博物館友の会会長）
委員 松尾正人（中央大学教授）
委員 松田幸雄（株緑山スタジオ・シティ常務取締役）
委員 村田孝子（ポーラ文化研究所 研究員）

○ 平成30年度江戸東京たてもの園外部評価委員会

- 日時 平成30年4月27日（金）午後2時から5時
場所 江戸東京たてもの園 会議室
内容 1 平成29年度外部評価総合評定について
2 平成30年度事業計画について

○江戸東京たてもの園外部評価委員会委員（平成31年3月末現在）

- 委員長 陣内秀信（法政大学教授）
委員 小沢朝江（東海大学教授）
委員 小野一之（府中市郷土の森博物館館長）
委員 中島清文（株式会社スタジオジブリ代表取締役）
委員 藤本裕（小金井市教育委員会生涯学習部長）

2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

4 野外収蔵（庭園保全管理）

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行った行うとともに、「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

〈映像ライブラリー〉

設置ブース数	14台（最大28人同時利用可）
映像ソフト数	456タイトル（平成24年3月31日現在）
アクセス回数	10,154回（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（年間目標利用回数13,000回／達成率78.1%）

「映像ライブラリー」では、特別展・企画展や年中行事等に合わせ、毎月5作品ずつ「おすすめ作品」を選定している。館内各種案内映像とちらしで紹介し、利用の活性化を図っている。

IX 広報事業

1 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館案内リーフレット	デザイン・内容を改訂し、より分かりやすく親しみやすいリーフレットとした。 日本語版 200,000部 英語版 70,000部 フランス語版 10,000部 ドイツ語版 10,000部 スペイン語版 10,000部 合計 300,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	日本語版・英語版年4回発行 日本語版 計 240,000部 英語版 計 80,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した。 対応件数 311件
インターネットホームページ	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	デザイン・内容を改訂し、わかりやすく魅力的なHPとした。年間カレンダーや重要なお知らせの表示方法を改善。アクセス件数 6,528,662件
スマートフォンサイト	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	ホームページと連動したスマートフォンサイトでの情報発信
その他の広報	PR活動	企画展プレス内覧会 6回
	チラシ・ポスターの発行(夏休みイベント)	①夏休みイベント チラシ 80,000部 ポスター 100部 ②正月イベント チラシ 110,000部 ポスター 730部
	有料広告の出稿	① JRトレインチャンネル 動画配信 1週間 ② シネアド広告 全国主要シネコン(35館)
その他の広報	ソーシャルメディアの活用	Twitterフォロワー数16,780人 Facebookフォロワー数 951人

	公式キャラクター「ギボちゃん」の活用	ゴールデンウィーク、お盆、年末年始の開館日に、ギボちゃんのきぐるみが常設展示室内に登場。来館者とふれあう機会を設ける。
	外国人対象の広報	・外国人はとバス&CNNj(ホル視聴TV)10月(1ヶ月) ・N'EX トレインチャンネル11月(1ヶ月)

【印刷物の作成】

種別	名称	実績
総合案内	『常設展示総合図録』	ハングル版2,000部
総合案内	『模型で見る江戸東京』	英語版2,000部

2 分館

種別	名称	実績
館内案内ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	英語版 1,500部 中国語版(簡体字) 3,000部 中国語版(繁体字) 3,000部 韓国語版 4,800部 合計 12,300部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延50,000部
	事業案内チラシ	年4回 延372,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した 対応件数 333件
その他広報	有料広告の出稿	Let's Enjoy Tokyoウェブページ、フリーペーパー、メルマガや朝日新聞多摩版等8件の有料広告掲出

【ホームページ・SNSの活用】

- (1) ホームページアクセス件数(平成31年3月末現在) 8,523,965件
- (2) ツイッターフォロワー数(平成31年3月末現在) 21,974人
- (3) ブログ、ツイッター、フェイスブックにて随時情報発信

3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月6日	齋藤慎一	徳川慶喜上書	江戸での戦闘 回避願う
2	4月20日	窪田直子	東都名所 日本橋真景並二魚市全図	江戸の定番名所美しく

3	4月27日	西村直子	歌撰恋之部物思恋	「大首絵」女性の深い想念
4	5月18日	春木晶子	鍾馗図	邪気払い 気迫と哀愁
5	5月25日	阿部由紀洋	花市生花店	看板建築 装飾華やか
6	6月1日	川口友子	刺子火事絆纏	豪華な裏地 火消の心意気
7	6月5日	津田 紘子	富士銀行貯金箱 ギリシャのボクちゃん	愛らしく 預金のすすめ
8	6月22日	齋藤慎一	震字軍配団扇	「震」の文字 軍に勢い
9	6月29日	西村直子	六花川 綾瀬川	小町乗り移った江戸美人
10	7月6日	松井かおる	地形交通網番地明細 史跡名勝記	文化財の分布示し学ぶ
11	7月20日	松井かおる	焼塩壺	壺ごと塩精製 食膳へ
12	7月27日	米山 勇	世界一の東京タワー	日本の誇り 来場者に配布
13	8月24日	杳沢博行	明治期写真コレクション東京近郊 第6号	趣味人写した明治の銀座
14	8月31日	江里口友子	大正大震災双六	再生へ強い思い 遊戯に
15	9月7日	春木晶子	名所江戸百景 玉川堤の花	錦絵に咲いた「幻の桜」
16	9月21日	真下祥幸	上水絵図	生活支えた水の流れ
17	9月28日	杳沢博行	水道協会関係文書	上水の大事業苦勞伝える
18	10月3日	菅井 薫	第三回内国勸業博覧会組上絵	博覧会の魅力組み立て
19	10月19日	川口友子	白綸子地橘笹模様染縫小袖	元禄期華やかデザイン
20	10月26日	湯川説子	『東京のシルエット』より「和田蔵門付近」	即興性広重から影響
21	11月2日	米山 勇	帝国ホテルのパンフレット	天才建築家 残した衝撃
22	11月16日	齋藤慎一	本小札紅糸威胴丸	豪華さ 幼い当主への期待
23	11月23日	西村直子	銀鍍金花鳥彫玉簪	髪飾る ぜいたくな輝き
24	11月30日	津田紘子	『子宝』	成長慈しむ挿絵と装丁
25	12月7日	春木晶子	十二月之内 師走餅つき	餅並べ 準備賑やか
26	1月18日	西村直子	蔓梅擬目白蒔絵軸盆	江戸の文化人ネット結実
27	1月25日	松井かおる	東京空襲スケッチ	怯え仰ぐ夜の機影
28	2月1日	齋藤慎一	黒塗松唐草葵牡丹紋散蒔絵雛道具	大奥 複数のセット飾る
29	2月15日	菅井薫	博覧会諸人群衆之図 元昌平坂ニ於テ	万博出品物 人々の熱気
30	2月22日	齋藤慎一	黒塗牡丹唐草葵浮線菊紋散蒔絵雛道具 文台	和宮も愛した徳川伝来品
31	3月1日	丸山はるか	『蛙宝』1巻～4巻	カエル愛満載 収集品紹介
32	3月15日	落合則子	御賄方鑑札(亀戸梅屋敷関係資料) 江戸城出入りの鑑札	将軍家御用達の証し
33	3月29日	栗屋朋子	浅草寺図	人と鳥 賑わう境内